

2025 年 11 月 23 日 (日)

日本キリスト教団 <sup>きゅうほうきょうかい</sup> 久宝教会

第 68 巻第 32 号 (通算 3469 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
週報

教会標語

<sup>ちい</sup>小さくされている人<sup>ひと</sup>を  
<sup>たいせつ</sup>大切に<sup>きょうかい</sup>する教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

あいじしゆくふくげっかん  
愛児祝福月間

こうたんぜんせつ だい しゅじつれいはい  
降誕前節 第5主日礼拝

《<sup>れいはい</sup>礼拝はインターネットで<sup>ちゅうけいはいしん</sup>中継配信いたします。ホームページにてどなたでも<sup>しちょう</sup>ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に<sup>ばしょ</sup>礼拝をして<sup>とも</sup>頂<sup>れいはい</sup>け<sup>いただ</sup>ます》

<sup>ぜんそう</sup>前奏(黙<sup>もく</sup>祷<sup>とう</sup>) <sup>ちよさくけんしやうめつ</sup> AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

<sup>まね</sup>招きの<sup>ことば</sup>詞 <sup>しへん</sup>詩編 <sup>へん</sup>78編 <sup>せつ</sup>1-4節

<sup>さんびか</sup>賛美歌 21-268番「朝日は昇りて」(©日本基督教団出版局)

<sup>せいしよ</sup>聖書 <sup>き</sup>サムエル記 <sup>じょう</sup>上 <sup>しょう</sup>16章 <sup>せつ</sup>1-13節

<sup>いの</sup>お祈り

<sup>さんびか</sup>賛美歌 21-568番「朝日はのぼり」(©W. H. Vanstone, D. H. Sheets)

<sup>ひと</sup>メッセージ「人は外見を見るが、神は内面を見る」 <sup>うしだ</sup>牛田 <sup>ただし</sup>匡 <sup>ぼくし</sup>牧師

<sup>さんびか</sup>賛美歌 21-409番「すくいの道を」(©JASRAC)

<sup>しゅ</sup>主の祈り 21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讃美歌改訂委員会)

<sup>あいじしゆくふくしき</sup>愛児祝福式(\*) <sup>うしだ</sup>牛田 <sup>ただし</sup>匡 <sup>ぼくし</sup>牧師

<sup>ささげもの</sup>献げ物(\*\*)

<sup>は</sup>派 <sup>けん</sup>遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

<sup>しゆくふく</sup>祝福 <sup>うしだ</sup>牛田 <sup>ただし</sup>匡 <sup>ぼくし</sup>牧師

<sup>こうそう</sup>後奏 <sup>ばん</sup>アーメン <sup>きやうだんさんびかいいんかい</sup>コーラス (21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)

<sup>ほうこく</sup>報告 (4頁をご参照ください)

《<sup>せき</sup>席にお<sup>すわ</sup>座りになったままで<sup>れいはい</sup>礼拝にご<sup>さんか</sup>参加ください》

\* みんなで出席された子どもたちに神様からの祝福をお祈りします。

\* \* 「<sup>ささげもの</sup>献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

## 招きの詞 詩編 78 編 1-4 節（聖書協会共同訳）

<sup>1</sup>民よ、私の教えを聞き／私の口の言葉に耳を傾けよ。

<sup>2</sup>私は口を開いてたとえを語り／いにしえから隠されていたことを告げよう。

<sup>3</sup>これは私たちが聞いて知ったこと／先祖が語り伝えたこと。

<sup>4</sup>これを子孫に隠すことなく

主の<sup>a</sup>誉れと力を／主がなされた奇しき業を／後の世代に語り伝えよう。

（脚注 a：別訳「賛美」）

## 聖書 サムエル記 上 16 章 1-13 節（聖書協会共同訳）

<sup>1</sup>主はサムエルに言われた。「いつまであなたは、サウルのことで悲しんでいるのか。私はイスラエルの王位から彼を退けた。角に油を満たし、出かけなさい。あなたをベツレヘム人エッサイのもとに遣わす。私は彼の息子の中に、王となる者を見つけた。」<sup>2</sup>サムエルは言った。「どうして、私が行けましょう。サウルが聞いたら、私を殺すでしょう。」主は言われた。「若い雌牛を引いて行き、『主にいけにえを献げるために来た』と言いなさい。<sup>3</sup>いけにえを献げるときには、エッサイを招きなさい。あなたがなすべきことは、その時に私が教える。あなたは、私がそれと告げる者に油を注ぎなさい。」<sup>4</sup>サムエルは主が命じられたとおりにした。彼がベツレヘムに着くと、町の長老たちは不安そうに出迎えて言った。「お出でになったのは、平和なことのためですか。」<sup>5</sup>サムエルは言った。「平和なことです。主にいけにえを献げるために来ました。身を清めて、私と一緒にいけにえの儀式に出てください。」こうして、サムエルはエッサイとその息子たちを清め、いけにえを献げるために彼らを招いた。

<sup>6</sup>彼らがやって来ると、サムエルはエリアブに目を留め、彼こそ主の前に油を注がれる者だと思った。<sup>7</sup>しかし、主はサムエルに言った。「容姿や背丈に捕らわれてはならない。私は彼を退ける。私は人が見るようには見ないからだ。人は目に映るところを見るが、私は心を見る。」<sup>8</sup>エッサイはアビナダブを呼び、サムエルの前を通らせた。サムエルは言った。「この者も主はお選びにならない。」<sup>9</sup>エッサイは次にシャンマを通らせたが、サムエルは言った。「この者も主はお選びにならない。」<sup>10</sup>エッサイは七人の息子をサムエルの前に通してみたが、サムエルはエッサイに言った。「主はこれらのうち、誰をもお選びにならない。」<sup>11</sup>サムエルはエッサイに言った。「あなたの息子はこれだけですか。」エッサイは言った。「末の子がまだ残っていますが、羊の群れの番をしています。」サムエルはエッサイに言った。「人をやって、彼を連れて来てください。彼が来るまでは、私たちは食卓に着きません。」<sup>12</sup>エッサイは人をやって、彼を連れて来させた。彼は血色が良く、目は美しく、姿も立派であった。主は言われた。「立って彼に油を注ぎなさい。彼がその人である。」<sup>13</sup>サムエルは油の入った角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油を注いだ。この日以来、主の霊が激しくダビデに降るようになった。サムエルは立ってラマに帰った。

## 《先週のメッセージより》 2025 年 11 月 16 日

### 「災いの意味を問う」

牛田匡牧師

聖書 マルコによる福音書 13 章 3-13 節

今回のお話は、イエス様が世界の終わり、終末がやって来る時の「徴」、予兆について告げられたというお話でした。まず自分が「救い主だ」と語る扇動者が現れ、さらに戦争や地震や飢饉などが起こるが、それらは世界の終末、完成に向けての「産みの苦しみの始まりである」と言われています。また弟子たちには受難が待ち受けているとも告げられますが、「最後まで耐え忍ぶ者は救われる」、だから頑張ринаさいと記されています。しかし、聖書を改めて読み直すと、イエス様の本意はどうも違っていそうです。例えば「産みの痛み」という訳では、それらがまるで必要悪かのように誤解してしまいますが、「出産の痛みのように大きな痛みだ」という意味であり、戦争も民族対立も、地震も飢饉も、「様々な災害は望まなくても繰り返してしまうものだ。だけれども、しかし、まだ世の終わりではない」という主張だったはずで、つまり、イエス様が本当に伝えられたことは、「扇動者や天変地異に惑わされるな。様々な苦難、災いがあるが、それらは『世の終わりの徴』ではない」ということだったのだらうと思います。私たちが生きている限り、時々遭遇する様々な災い……。それらの意味を「聖書にこう書いてある」「イエス様がこう言われた」と言って権威づけて、人々に強要する時、それこそイエス様の名を語る偽預言者と同じになってしまっているのではないのでしょうか。

聖書が一貫して表わしていることは、全ての命が尊く、大切だということです。そしてイエス様がその身をもって、その誕生から十字架での死と復活までの生き様を通して示された「福音」とは、いつでもどこでも、たとえどんなに絶望的な状況の中にあっても、神が共におられる（インマヌエル）ということ、神があなたを見捨てることはないということです。災いの意味、苦難の意味、それらは私たち一人一人が、その人生の歩みの折々に、何度も問いかけ、問い直し、意味を紡ぎ出していくもの。そしてこれまでの過去の経験を生き直していくものです。決して他人から教え込まれたり、指示されたり、決めつけられたりするものではありません。今日、私たちの周りには目を惑わすものや、不安をかき立てるものがありますが、そのような中であっても、それらに惑わされることなく、神様がどこにおられるか。誰と共におられるか。どのように生きるかということに、目と心を絶えず向けていきたいと願います。災いの意味、現実の意味は、一人一人が神様と共に歩む中で、日々に見出していくものです。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



## ◎ 先週の報告 2025 年 11 月 16 日

礼拝出席 大人 5 人 献金 大人 4,300 円 中継視聴者数 15 回 感謝

## ◎次週 2025 年 11 月 30 日（日）（愛児祝福月間）待降節第 1 主日礼拝

招きの詞 イザヤ書 51 章 4-5 節

聖書 テサロニケの信徒への手紙 I 5 章 1-11 節

メッセージ「クリスマスを迎える準備」牛田匡牧師

賛美歌 21-242、241、542 番、「だから今日希望がある」（©いずれも JASRAC）

11 月は「愛児祝福月間」ですので、子どもが出席された場合、礼拝の中で「愛児祝福式」を行います。11 月の最終週ですので、11 月（まで）にお生まれの方の誕生者祝福式を礼拝の中で行います。

クリスマスを待ち望む「待降節（アドヴェント）」に入ります。毎週の礼拝の中でアドヴェント・クランツのろうそくに、一本ずつ火が灯されていきます。

## ◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行います。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・本日の礼拝後、15 時から服部墓地（豊中市）にて、大阪教区墓地委員会主催の墓前礼拝が行われます。司式は箕面教会の家山華子牧師です。
- ・12 月 21 日（日）はクリスマス礼拝です。礼拝後に、皆で愛餐会（昼食会）があります（参加費無料・食事の持ち寄り歓迎）。
- ・12 月 21 日（日）の午後、14 時～15 時頃にかけて、教会学校・まぶねっこのキッズクリスマスを開催します。久宝まぶねこども園の卒園児を中心にして、みんなでクリスマスのお祝いをします。みんなで聖書のお話を聞いたり、クリスマスの賛美歌を歌ったり、ゲームをして楽しく過ごしましょう。参加費は無料です。飲み物は水筒を持参してください。おみやげを用意する関係で、参加人数を知りたいので、前週の 12 月 13 日（土）までに、下記の URL もしくは右下の QR コードより、お申込みください。

<https://forms.gle/PEfaDbRAeHuh2q6p7>



## ◎次週以降の行事予定

|       | メッセージ | 行事                                                       |
|-------|-------|----------------------------------------------------------|
| 11/30 | 牛田匡牧師 | （愛児祝福月間）（アドベント入り）<br>誕生者祝福式                              |
| 12/7  | 牛田匡牧師 | （アドベント）ユーカリスト・教会を考える会                                    |
| 12/14 |       | （アドベント）（第二好意の庭・クリスマス礼拝）<br>教会堂での礼拝は休会です（Youtube配信のみ行います） |
| 12/21 | 牛田匡牧師 | クリスマス礼拝・ユーカリスト・愛餐会<br>14時～キッズクリスマス                       |

きょうほうしょうかいしょうかいがっこう  
**久宝教会教会学校・まぶねっこ**  
**キッズクリスマス会のお知らせ**



もうすぐクリスマスですね。みんな元気になっていますか。  
ひさしぶりにこども園にあつまって、みんなで  
クリスマスを祝いましょう。

とき 12月21日（日）午後2～3時（1時間くらい）  
ところ 久宝教会（久宝まぶねこども園の南側）

プログラム 聖書のおはなし、さんびか、ゲームなど  
水筒をもってきてください。  
体調不良時はご遠慮ください。

子どもたちだけのプログラムです。  
送迎時には駐車場をご利用ください。

お申し込みは 日本キリスト教団 久宝教会  
こちら（久宝まぶねこども園・南側）  
（13日×切） 八尾市久宝寺 6-7-10  
電話（072）992-2131